



日本

の源流再発見

File 12

山形県鶴岡市

庶民にも愛された修験道の聖地



山形県鶴岡市は、西川町、庄内町とともに日本遺産「自然と信仰が息づく「生まれかわりの旅」～樹齢300年を超える杉並木につつまれた2,446段の石段から始まる出羽三山～」に認定されています。江戸時代、羽黒山、月山、湯殿山の出羽三山を巡ることが、「生まれかわりの旅」として広がり、今も人々をひきつけています。

表参道杉並木

杉の巨木に守られた荘厳な祈りの場

羽黒山、月山、湯殿山から成る出羽三山は、古くから修験道の霊場として知られています。その歴史は古く、およそ1,400年前、崇峻天皇の御子である蜂子皇子が羽黒山を開山したことが始まりと伝えられています。

出羽三山のうち最も低く村里にも近い羽黒山は「現在の世を表す山」、ひと



随神門

きわ高く美しい姿を持つ月山は祖霊が鎮まる山として崇められたことから「過去の世を表す山」、そして湯殿山は、ご神体である赤い巨岩の頂部からお湯の湧き出る様子を、新しい命を産み落とす女性の神秘に重ね「未来の世を表す山」といわれています。これら三山の由緒から、羽黒山で現在の幸せを祈り、月山で死後の安楽と往生を祈り、湯殿山で生まれかわりを祈る「三関三渡」の旅が、江戸時代に庶民の間で広まりました。

なかでも羽黒山は、旅のはじまりの山として大いににぎわいました。現在は、山頂まで車でも行けませんが、ミシュ



出羽三山歴史博物館（銅鏡）

ラン・グリーンガイド・ジャポンで最高ランクの三つ星に認定された美しい杉並木がある2,446段の石段を歩くのもよいでしょう。

神域の入り口となる随神門をくぐると、しばらくは下り坂。歩を進めると、赤い神橋と勢いよく流れ落ちる須賀の滝が、さらに樹齢千年ともいわれる爺杉



▲ 月山ワイン

貯蔵庫は廃道となった国道のトンネルを利用。かつて、野生の山ぶどうを使った“どぶろく”が愛飲されていましたが、今ではフランスのコンクールで金賞を受賞するほどおいしいワインとして知られています



▲ 羽黒山五重塔

承平年間(931~938年)に平将門によって創建され、現在の塔は南北朝時代に再建されたものと伝えられています



▲ 羽黒山三神合祭殿

羽黒山頂にある社殿。羽黒山に加え、月山と湯殿山の神々が合祀されており、こっただけで三山にお詣りしたと同じご利益があるといわれています



▲ 羽黒山大鳥居

高さ22.5m、幅15mで東北一の大きさを誇る朱塗りの両部鳥居。夕刻、ライトアップされると荘厳な雰囲気になります

を通り過ぎると、間もなく国宝の五重塔が見えてきます。この塔は三間五層のこけらぶき、色彩を施さない素木造りという伝統的で均斉の取れた姿で知られています。

油溢しとも呼ばれる二の坂の急勾配を登りきったところにあるのが二の坂茶屋で、ここでひと休みするのが参拝者の定番。晴れていれば、庄内平野はもとより日本海まで見渡せます。二の坂茶屋を過ぎると道のりも残り約半分。三の坂を上りきると、山頂に到着です。

山頂には、大鐘と重要文化財の鐘楼、貴重な資料を集めた出羽三山歴

史博物館など多くの見どころがありますが、ぜひお詣りしたいのが重要文化財の三神合祭殿。冬場は雪に閉ざされる月山と湯殿山にもいつでもお詣りできるよう、三山の神々が合祀されています。高さ28m、厚さ約2.1mというかやぶき屋根が圧巻の大社殿で、羽黒山の信仰の中心でもあります。

ココに注目

2,446段に及ぶ羽黒山参道の中ほどにある二の坂茶屋。名物「力餅」は、庄内産の青きなこなどをまぶした杓つきの逸品。



日立グループ事業所紹介

今回訪れた鶴岡市には株式会社日立ビルシステム 庄内営業所があります。エレベーターやエスカレーターの販売、メンテナンス、リニューアル、またセキュリティや省エネルギーなど、建物のトータルなソリューションを提供しています。

株式会社日立ビルシステム 庄内営業所

山形県鶴岡市錦町2番68号 鶴岡SSビル3階

<http://www.hbs.co.jp/>